

事業所名

たんぼひろば

支援プログラム

作成日

R7 年

1 月

10 日

| | | | |
|-----------|-----------------|--|--|
| 法人（事業所）理念 | | 敬 すべてに尊敬の念を持ち、感謝の心を持つことのできる子どもに育てる 愛 すべてに等しく愛情を持ち、わけ隔てなく愛情を注ぐことのできる子どもに育てる 信 たがいに信じあい、信じられることによって他人を信じることのできる子どもに育てる | |
| 支援方針 | | ～子どもたちにあふれる笑顔を～ 支援を必要とする子どもに対して、学校や家庭とは異なる空間・人・体験を通じ、個々の状況に応じた支援を行うことにより、子どもの健全な育成を図ります。 | |
| 営業時間 | | 9 時 0 分から 18 時 0 分まで | 送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
| 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ○健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作りだすことを支援する。 ○食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的生活動作を獲得できるよう支援する。 | |
| | 運動・感覚 | ○子どもの特性に合わせて日常生活に必要な能力の向上の為に運動に関する支援を実施する。（例：サーキット、ボール遊び、鬼ごっこ等） ○子どもの発達段階および特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるような遊びを通して支援する。（例：新聞紙遊び、砂遊び等） | |
| | 認知・行動 | ○環境から情報を取得し、必要な行動に繋げるという一連の過程の発達を支援する。子どもの特性に合った環境調整ならびに関わりを意識して支援する。 ○感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害に対して事前に環境調整などの予防策を行い、適切な行動の獲得に向けた支援を行う。 | |
| | 言語 コミュニケーション | ○自分の希望や要求を、ジェスチャーや絵カード、簡単な言葉などで相手に伝えられるように職員がモデルを示す。 ○子どもからの発信や要求、気持ちの表出に職員ができる限り応えることで、相手に伝わる喜びを感じる。 | |
| | 人間関係 社会性 | ○子ども自らが自発的に集団に参加し手順やルールを理解し遊びや集団活動に参加できるよう支援していく。 ○自分のできること、できないことなど、自分の行動の特性を理解するとともに、気持ちの調整ができるように支援する。 | |
| 家族支援 | | ○レスパイトや就労等の預かりニーズへの対応として延長支援を行う。 ○子どもについて事業所の様子、家庭の様子を共有するため面談を実施する。 | 移行支援 ○進路や移行先の選択についての相談援助や準備の支援を行います。 ○地域との繋がりの取り組み(地域住民との交流・行事等) |
| 地域支援・地域連携 | | ○相談支援事業所や福祉サービス事業所との連携をする。 ○併行利用先や学校との情報共有を行う。 ○自立支援協議会への参加する。 | 職員の質の向上 ○法定研修(虐待防止、感染症予防、人権) ○ケース検討会 |
| 主な行事等 | | ○季節ごとの催し(夏祭り、ハロウィン、クリスマス) ○特別プログラム(体験活動や工場見学等) | |